

# 価値創造のあゆみ

昭和産業グループは、創業以来「食」を通じて様々な社会的課題の解決に貢献しながら、事業を拡大してきました。創業当時から時代に合わせて変化し、これからも穀物をプラットフォームとする幅広い事業を通じて人々の健康と豊かな食生活に貢献する、持続的成長力のある企業を目指します。



各年代での主な当社グループピックス



創始者  
伊藤 英夫

1936年 創立

昭和初期、日本では工業化が進んでいましたが、深刻な食糧不足に加え、凶作が続いたことで農村はひどく疲弊していました。その光景を目の当たりにした創業者の伊藤英夫は、「日本の農業を支えたい」と一念発起し、農産物の加工を担う昭和製粉株式会社を立ち上げ、翌年の1936年に昭和産業株式会社を設立しました。

売上高の推移

- 1961 鶴見工場竣工により、我が国初の臨海食品コンビナート完成
- 1965 船橋食品コンビナート完成(現 船橋工場)
- 1966 総合研究所を開設
- 1970 神戸食品コンビナート完成(現 神戸工場)
- 1973 現本社ビル完成
- 1974 鹿島工場竣工
- 1976 敷島スターク株式会社を子会社化

- 1991 食品開発センターを開設
- 1994 『オリゴタイム』(関与する成分: イソマルトオリゴ糖)が特定保健用食品として厚生省許可取得
- 2002 昭和冷凍食品株式会社を設立
- 2003 中国に合弁会社「大成昭和食品(天津)有限公司」を設立
- 2004 社員教育制度「昭和塾」を開校
- 2005 株式会社スウィングベーカリーを設立
- 2009 奥本製粉株式会社を子会社化  
食品安全・品質マネジメントシステム運用開始

- 2014 企業ブランドメッセージ  
「穀物ソリューション・カンパニー」を発表  
セントラル製粉株式会社に資本参加(2018年子会社化)
- 2015 グランソールベーカリー株式会社を設立
- 2016 RD&Eセンターを開設  
長期ビジョン『SHOWA Next Stage for 2025』を発表
- 2017 ガーデンベーカリー株式会社を子会社化
- 2020 中一食品股份有限公司・國成麵粉股份有限公司(台湾)の増資引き受け  
ボーソー油脂株式会社を子会社化  
サンエイ糖化株式会社を子会社化
- 2022 船橋プレミックス第2工場操業
- 2023 辻製油株式会社と資本業務提携
- 2024 昭和産業インターナショナルベトナムを設立

(売上高)  
(億円)

● 3,463億円

3,000

2,000

1,000

0